

I 部3年次学年通信



—当たり前前を当たり前前にできる、強くて優しい人に 第8号 2025. 12. 23

卒業のその先を見越して

来年になると本当に卒業が目の前に迫ってきた感じがします。時が過ぎるのは本当に早いものです。二度と戻ることのない高校時代です。毎日毎日を大切に過ごしてください。

さて、みんなの人生の目標は当然高校を卒業することではないはずです。その先の進学先や就職先で頑張り、自己実現を図ることのはずです。ですので、間違った習慣を付けないように、卒業が近づいても毎日の生活を乱れずに過ごしてほしいと思います。

冬休みをどう過ごす

進路が決まっている人は、進路先での生活のための準備を少しずつ始めてください。進路決定がまだの人は最後の粘りを見せてください。進路実現のような不確実なことに対して努力できるのは人間だけです。不安でいっぱいかもしれませんが、結果がどうあれ、逃げずに努力した経験は宝物です。最後まで頑張ってください。何か不安があれば近くの先生まで相談してください。

【1・2・3月の主な予定】

1月

7 (水) 始業式
着こなし講座
14 (水) 巣立ち教室
16 (金) 共通テスト直前指導
17 (土)～18 (日) 共通テスト
19 (月) 調査時間割発表
共通テスト自己採点
26 (月)～29 (木) 年度末考査
30 (金) テスト返し、LHR

2月

5 (木)～13 (金) 追認考査指導、時間補充
17 (火) 追認考査
19 (木) 特別認定考査指導 (～3/12)
24 (火) 3年登校日 (1, 2限)
予行練習等

3月

2 (月) 3年登校日 (1～4限)
同窓会入会式、卒業式予行
就職最終ガイダンス
3 (火) 卒業式

【学年団からの言葉】

今回は1組担任の川口先生です。良い格言を紹介して下さっています。最後まで読んでください。



期末考査が終わり、いよいよ冬らしい季節になってきました。12月になり、年の瀬も迫ってくると、「また、一年が過ぎていくな…」と感じることも多いと思います。この一年は3年生の諸君にとって、どのような年だったでしょうか？自分の将来を決めるという意味では、激動の一年を過ごしたと感じる人も多いことでしょう。年が明ければ、学校に登校するのは一か月もないことになります。残り少ない日数をどう過ごすか、非常に大事なことだと思います。古代中国から伝わる言葉として「百里を行く者は九十を半ばとす」という言葉があります。長い道のりの9割を終えたとしても、全ての行程を踏破するまでは「また、道半ばだ…」という意識を持てということです。何事も最後まで油断せずに、勉強も行事も思い出づくりも一生懸命に取り組んでほしいと願っています。

みなさんにはもう一つ後悔してほしくないことがあります。一緒に3年間を過ごした友人や日頃からお世話になっている先生に「今まで、ありがとう」と伝えましたか？「もう少し、時間があるから」と思っていると、あっという間に卒業式が来てしまいます。2月は追認考査などのよほどのことがなければ、皆さんは学校に登校することは無いでしょう。面と向かって会うことのできる日は、限られてきています。卒業しても交流は続くと思いますが、毎日会うことは無くなります。毎日、顔を合わせる今のうちに、感謝の気持ちや伝えたいことは言葉にして、後悔の無いようにしてください。それでは、よいお年をお迎えください。年が明けたら、卒業まで駆け抜けましょう。

冬休み明けには、身だしなみチェックがあります。
場合によっては、生徒指導より指導が入ります。